

令和4年度病害虫発生予察注意報第5号

令和4年9月8日
岐 阜 県

作物名 水稻

病害虫名 トビイロウンカ

1 発生地域 美濃地域（岐阜・西濃、中濃、東濃地域）

2 発生時期 9月上旬以降

3 発生程度 やや多い

4 予報の根拠

- (1) 8月9日に海津市海津町に設置した予察灯において、トビイロウンカの雄成虫1頭が誘殺された。
- (2) 8月25日に羽島市の水稻ほ場（品種：ハツシモ岐阜SL）で岐阜農林事務所が実施した払い落とし調査においてトビイロウンカの疑義虫1頭が捕獲され、病害虫防除所で検鏡したところトビイロウンカ（長翅型雌成虫）であることが確認された。
- (3) 8月29日から9月1日に25地点59ほ場（岐阜・西濃地域12地点34ほ場、中濃地域8地点11ほ場、東濃地域5地点14ほ場）で実施した追加調査により、美濃市の1ほ場において本種の成虫（長翅型雌成虫1頭）が確認された。
- (4) 美濃地域の広範囲で本種が発生していると推測され、晩生品種（ハツシモ岐阜SL）等において、被害が発生する恐れがある。
- (5) 名古屋地方気象台の1か月予報（9月1日発表）では、気温が高いと予想されており、本種の増殖に好適な条件となる恐れがある。

5 防除上の注意事項

- (1) 9月以降に収穫を迎える品種では、「坪枯れ」被害が発生する可能性があるため、ほ場の見回りを行い、特に水面近くのイネの株元を重点的に観察し、確認された場合は早急に防除する。
- (2) トビイロウンカに対して効果が高く、薬効期間が長いトリフルメゾピリム等の成分を含む箱施用を使用していないほ場では、出穂期防除を実施する。

- (3) 本種の生息部位は、水面近くの株元であるため、薬剤は株元にかかるよう丁寧に散布する。
- (4) 粒剤を使用する場合は、効果が現れるまでに時間を要するため、早めに散布する。
- (5) 農薬の使用にあたっては、最新の登録情報 (<https://pesticide.maff.go.jp/> 農薬登録情報提供システム) を参照し、使用時期 (収穫前日数) について十分に注意しながら適正に使用する。



図1 水稻に寄生するトビイロウンカ 図2 トビイロウンカによる坪枯れ
(図1、図2ともに令和2年度に撮影)